

令和3年12月27日
農業技術センター技術普及部

標題 島根県アジサイ研究会 第60回農林水産祭で「内閣総理大臣賞」を受賞

(ダイジェスト)

島根県アジサイ研究会(多久和敏男会長外16名)は、令和3年度第60回農林水産祭の園芸部門で「内閣総理大臣賞」を受賞しました。この農林水産祭は国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と財団法人日本農林漁業振興会の共催により昭和37年から実施されている表彰行事です。

農林水産祭では、「天皇杯」「内閣総理大臣賞」及び「日本農林漁業振興会会長賞」が農産、園芸、畜産、蚕糸・地域特産、林産、水産、むらづくりの7部門に各々授与されます。第60回大会(令和2年7月～令和3年6月)では参加表彰行事207件で農林水産大臣賞を受賞した345点から選出されました。

島根県アジサイ研究会は第50回日本農業賞で「大賞」を受賞(令和3年1月29日)。農林水産祭表彰行事へエントリーされ、選賞審査(8月24日)を受けて、令和3年10月6日に受賞が決定しました。

表彰式典は、11月23日、勤労感謝の日に明治神宮で行われ、多久和会長と常松副会長が参加しました。



第60回農林水産祭式典 於 明治神宮(11/23)
左;常松副会長 右;多久和会長



島根県への受賞報告(12/16)
左から;常松・小田副会長、多久和会長、西村部長

受賞を受けて、12月16日～22日に島根県、JAしまね中央会及び各会員が居住する市町へ報告を行いました。

多久和会長は「この受賞は、通過点と考えている。令和4年には研究会内に法人を立ち上げ、担い手の育成や育種にも取り組む予定。活動の幅を広げてさらなる発展を目指し、数年後には『天皇杯』とともに改めて受賞報告に伺いたい」と力づよく報告しました。

島根県アジサイ研究会(平成22年6月設立)は、島根県が育成したオリジナルアジサイ「万華鏡」「銀河」等の栽培に取り組んでおり、主に母の日の贈答用として全国の約29市場へ出荷しています。令和3年度の出荷実績は14.1万鉢、販売額1.99億円となっており、全国第3位のシェアを持つまでに急成長を遂げています。